

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五六・（公衆）〇四七二二二七二〇七

風雲急を告げる三里塚

労農連帯こそ勝利を拓く

3・27三里塚へ
シリーズ①

現地は二期決戦の真只中

八八年、三里塚をめぐる情勢は風雲急を告げている。右翼・石原を運輸大臣にすえ、日帝・自民党は「一九九〇年度二期概成」プランのもと、木の根大トンネル、工事用道路、エプロン工事など次々に強行着工した。

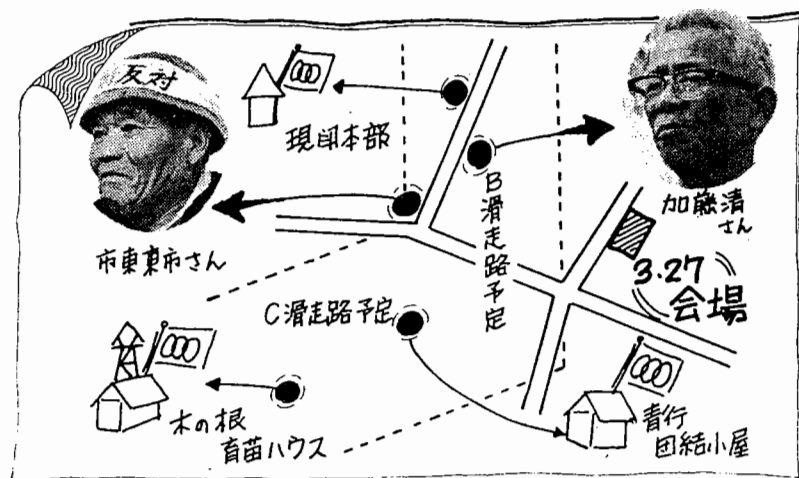
今、三里塚ではダンプカーが砂塵を巻き上げ、ブルドーザーが緑の大地を切り刻んでいる。しかし、九〇年までに二期が出来るのであろうか。まったく否である。なぜならば三里塚農民の闘いがある。かぎり、敷地内農民が敵として北総大地に生きるかぎり、いかに工事に手をつけようと、どこまで行こうと穴あきであり虫食いの状態でしかない。政府・空港公団は何んの展望もないまま工事の「既成事実」をもって重圧をかけ、暴力で闘いを押しつぶさんとしているのである。八八年はまぎれもなく二期決戦の年である。われわれは必ずや勝利しなければならぬ。

芝山町議選で反対同盟・鈴木さん大勝利

三・二七全国総決起集会は、二期阻止、廃港にきわめて重要な闘いである。成田市議選・北原さんの勝利に引き継ぎ、芝山町議選において、鈴木幸司さんは、自民党から共産党、そして脱落派まであらゆる妨害にうち勝って第三位当選という大勝利をかちとった。芝山町民は空港反対、廃港の道を選んだ。反対同盟の闘いに大きな力をあたえたのである。今まさに、勝利の道は切り開かれた。

労農連帯を貫ぬこう

三里塚農民とわれわれは共に闘ってきた。思いおこして見よう、三里塚ジェット闘争に、そして分割・民営化に抗して決起した二波ストライキに真っ先にかけてくれたのが反対同盟であった。われわれが首をかけてたち上がった時、そこには必ず三里塚農民のみなさんの姿があったのではないか。二十年を不屈に闘いぬいでいる反対同盟が今、決戦にいどまんとしている。今こそ、三里塚にかけつけよう。持てる力の全てを出しきって、三里塚集会に根こそぎ結集しよう。



不屈の反対同盟がたたかいつづける
かぎり二期は絶対に完成しない

3・27～4・9にむけた
職場討議資料 完成

職場討議資料

3.27から4.9へ！

国鉄千葉動力車労働組合・教宣部

オルグ・職場集会などによる活動の展開